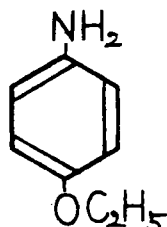


4-エトキシアニリン(通称P-フェネチン)の分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年8月24日～昭和51年11月5日
2. 試料名 4-エトキシアニリン(通称P-フェネチン)(試料№K-194)
- 分子式  $C_8H_{11}NO$
- 構造式



性状 純度 99.78% (P-クロルアニリン0.16% O-フェネチン0.06%)

比重 1.070 (15℃)

融点 約4.5℃

溶解性 水に不溶

経時変化 経時により着色する

(提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業第5号 }  
薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49基局第392号 }

試料濃度 30 ppm 汚泥濃度 100 ppm

試験期間 31日

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

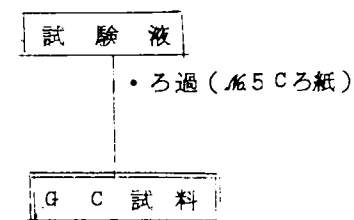
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 10%PEG 20M/クロモソルブW

ガラスカラム 2mmφ×1m

カラム温度 170℃

以下次頁に続く

#### 4. 試験結果

試料濃度 30 ppm, 試験期間 31日, 汚泥濃度 100 ppm

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
G C による結果	3.4	2	1

#### 5. 参考試験(図一2, 表一1参照)

参考試験として、試料濃度 30 ppm, 汚泥濃度 1000 ppm,  
試験期間 31 日にて開放系で行ったところ、約 30 % 分解した。

#### 6. 備 考

クローメーター仕込時の pH は水系 6.5, 汚泥系 6.9 であつた。

以 上